



かるたと絵本を制作した学生

福島県の養蚕文化 絵本に

かるたも 福島大生が制作、お披露目

福島市の養蚕や織物文化を知ってもらおうと、福島大人間発達文化学類芸術・表現コース彫刻研究室の学生がかるた「ふくしま養蚕カルタ」と絵本「ヒロくんときなかの子」を制作した。26日、同市の織物工房「工房おりをり」でお披露目が開かれた。

市フルーツラインエリア観光推進協議会が同大の学生6人と連携し、約半年かけて制作に取り組んだ。かるたは五七五調で、蚕や絹の織物を学べるよう、読み札の内容にこだわっている。絵本は養蚕農家の両親の元で過ごす少年が養蚕の素晴らしさや命の尊さに気付いて成長していく物語。実話を混ぜたり、絵を温かみのある色使いで仕上げたりと工夫した。

お披露目会では、制作した学生が養蚕や織物に携わる地域住民らに絵本を読み



養蚕や絹織物を学べるかるた

▲1月28日 福島民友新聞掲載

5W1Hを読み解こう

記事を読んだ感想や意見を書いてみよう。(330字程度)

いつ
(When)

どこで
(Where)

だれが
(Who)

なにを
(What)

どのように
どうやって (How)
カルタや絵本
は、それぞれど
んな工夫を？

なぜ
どうして
(Why)

イラストに描かれている幼虫は何て言うのかな？
また、「養蚕」って、どんなことなの？



「ジュニア窓」にようこそ

福島民友投稿のページ「窓」に送る